

自民若手「増税凍結を」

再デフレ化懸念 GW後に提言へ

自民党の若手議員による

「日本の未来を考える勉強会」は1日、デフレからの完全脱却に向けた経済政策として、消費税の10%への増税凍結などを求める提言を明らかにした。大型連休後に首相官邸や党に提出し、政策への反映を目指す。

提言ではアベノミクスで名目GDP（国内総生産）が増加したものの、2014年の消費税増税で消費が縮小して「再デフレ化に直面している」と分析。「この状況のままでは自民党政権の信任にも関わると危惧される」と指摘す

る。

19年10月に予定される10%への増税については「かえって税収を縮小させ、財政を悪化させるリスクが大きい」と強調し、「減税を視野に、最低でも増税凍結が必要」と盛り込んだ。また基礎的財政収支の黒字化目標は大規模な財政出動を妨げているとして撤回を求めている。

勉強会は同党の安藤裕衆院議員（京都6区）が呼び掛けて主宰し、当選3回までの衆院議員と当選1回の参院議員が参加している。

（高橋晴久）